



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター

佐藤 充 先生
佐藤内科小児科医院 院長



コロナワクチン追加接種

新年あけましておめでとうございます。健やかな一年でありますようお祈り申し上げます。

国内でコロナウイルス感染が確認されてから間もなく2年になろうとしています。青森県でもクラスターははじめ何度かの流行を経験致しました。特に第5波と言われた感染拡大は記憶に新しいところです。

8月20日頃の全国で1日2万5千人超の新規発症をピークに減少に転じました。しかし、その減少の仕方があまりに急激すぎて、皆が首を傾げている状況です。ワクチンの効果という説明のほかに、仮説の一つとして遺伝子領域でデルタ株に感染力がなくなる現象が起きている可能性、デルタ株があまりにも多くの変異を重ねるうちに遺伝子情報が壊れるなど自滅した可能性などが言われていますが、いまだ検証されたものではなく推測の域を出ません。厚生労働省も、ゲノム分析では今のところ大きな変化はなく、弱毒化しているという変異があるわけではないとしています。

海外では感染が拡大している国もあり、国内でも第6波の可能性が言われる中、私たちはどう対応したら良いのでしょうか。いま注射薬や

内服薬が話題に出てくるようになりましたが、これらは感染後に使用するものです。とすれば感染前にできること、ワクチンについてはどうでしょう。時間の経過に伴い中和抗体の減少が指摘され、3回目のワクチン追加接種が注目されています。米国などで16歳以上の1万人超を対象に実施した臨床試験で、ファイザー製コロナワクチンを2回接種済みの人を対象に、2回目からの間隔は約11か月(中央値)で、1,2回目と同じ量を追加接種したところ、接種して約2か月半(中央値)の間に発症した人は、追加接種群が5例、プラセボ群(偽薬群)が109例で予防効果を示す有効率は95.6%となりました。有害事象は報告されている安全性データと同様の内容であったとの事です。国では3回目の追加接種を2回目の接種から8か月を目処に施行する方針です。今後、オミクロン株の感染を含めどんどん出てくるであろう情報を確認していただき、追加接種を検討しておくのとはとても大切な事だと思います。

マスクを外して生活できる、気軽に出かけられる、人と会える、これまでの日常を1日でも早く取り戻すために皆で頑張りましょう。

『健康こそ宝』 深浦町保健センターだより

新型コロナウイルス感染症の“今”を知ろう!

新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にありますが、まだまだ感染対策に気が抜けない状況が続いています。新型コロナウイルス発生を押さえるには、**1人ひとりが最新の知識を身に付け、対策をとることが重要**です。そこで、現時点(2021年12月)の検査・治療、3回目のワクチン接種などについて確認していただければと思います。

新型コロナウイルス感染症の患者数・感染性

日本ではこれまで、173万人が新型コロナウイルス感染症と診断されています。そのうち、重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方とされています。新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7~10日前後です。そのため、少しでも体調が悪いと感じたら、外出を控えるようにしましょう。

また、3密(密閉・密集・密接)で感染リスクが高まります。一つでも密を避けて、できる限り「ゼロ密」を目指しましょう。



新型コロナウイルス感染症に対する検査・治療

新型コロナウイルス感染症を診断するための検査は、**核酸検出検査(PCR法等)**、**抗原定量検査**、**抗原定性検査**等があります。抗体検査は、過去に新型コロナウイルス感染症にかかったことがあるかを調べるもので、検査を受ける時点で感染しているかを調べる目的に使うことはできません。治療は、軽症の場合は経過観察のみで自然改善することが多く、必要時に解熱薬などの対症療法を行います。呼吸不全を伴う場合は、酸素投与や抗ウイルス薬、ステロイド薬(炎症を押さえる薬)、免疫調整薬、中和抗体薬の投与を行い、改善しない場合は人工呼吸器等による集中治療を行うことがあります。



3回目のワクチン接種について

新型コロナウイルスのワクチンは、時間の経過に伴い、徐々に効果が低下していくことが示唆されているので、**3回目の接種をすることが望ましい**とされています。

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は…

- ・対象者は、初回(1回目・2回目)接種が完了した18歳以上の方
- ・副反応は、2回目の接種と概ね同様だが、リンパ節の腫れの出現率は5%程度高い

☆変異株の出現や治療法の確立、ワクチン接種の方針など、日々状況は変化します。

情報を取り入れ、できることから対策をしていきましょう。

【問合せ先】 健康推進課 TEL 82-0288



たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666
<http://www.takekuma-vet.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝日
午前	9:00~11:30	○	○	休診	○	○	○	10:00 12:00
午後	3:00~5:30	○	○	休診	○	○	3:00 5:00	1:00 3:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

30分前までです
受付時間は終了の

入院施設有

往診快諾

- ペットホテル有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査、健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)

◆診療時間が変更になる場合がありますので電話等で確認してください

